

新耐震木造住宅検証法 結果表

※本表に一般診断法の診断表とリーフレット（木造住宅の耐震性能チェック）等を添付してください

一般診断法に準じた方法（専門家による検証）による評点と判定

※一般診断法の診断表に示された各階・各方向の評点に、一般診断法に準じた方法における劣化度による低減係数^{※1}（0.7、0.85、1.0のいずれか）を乗じ、その最小値を一般診断法に準じた方法による上部構造評点とする。

一般診断法の診断表 による評点	一般診断法に準じた方法における 劣化度による低減係数 ^{※1}	一般診断法に準じた方法 による評点 ^{※2}																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">2階</td> <td>X方向</td> <td style="text-align: center;">0.68</td> </tr> <tr> <td>Y方向</td> <td style="text-align: center;">0.68</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1階</td> <td>X方向</td> <td style="text-align: center;">0.46</td> </tr> <tr> <td>Y方向</td> <td style="text-align: center;">0.75</td> </tr> </table>	2階	X方向	0.68	Y方向	0.68	1階	X方向	0.46	Y方向	0.75	× 0.7 =	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">2階</td> <td>X方向</td> <td style="text-align: center;">0.47</td> </tr> <tr> <td>Y方向</td> <td style="text-align: center;">0.47</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1階</td> <td>X方向</td> <td style="text-align: center;">0.32</td> </tr> <tr> <td>Y方向</td> <td style="text-align: center;">0.52</td> </tr> </table>	2階	X方向	0.47	Y方向	0.47	1階	X方向	0.32	Y方向	0.52
2階		X方向	0.68																			
	Y方向	0.68																				
1階	X方向	0.46																				
	Y方向	0.75																				
2階	X方向	0.47																				
	Y方向	0.47																				
1階	X方向	0.32																				
	Y方向	0.52																				

一般診断法に準じた方法による評点と判定

一般診断法に準じた方法による 評点	一般診断法に準じた方法による 判定
1.5以上	倒壊しない
1.0以上	一応倒壊しない
0.7以上1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

※1 チェック4やチェック6から判定した一般診断法に準じた方法における劣化度による低減係数

※2 小数点第3位を切り捨て

この新耐震木造住宅検証法は、昭和56年6月から平成12年5月までに建築された木造住宅で、リーフレット（木造住宅の耐震性能チェック）により本検証法の対象となった建物について、効率的に耐震性能を検証することを目的として作成されたものです。

コメント欄：

.....

.....

.....

.....

必要に応じて以下の欄をご使用ください。

検証実施者		講習会	主催者	
所属			講習修了番号	
連絡先	〒	TEL :		

「新耐震基準の木造住宅の 耐震性能検証法」による計算表

計算プログラム:ホームズ君「耐震診断Pro」Ver.4.2

建物概要

建物名称	: 財来一郎(在来軸組構法)
診断者	: 財来一郎
備考	: 在来構法
所在地	: つくば市東2-31-18
竣工年月	: 1980年9月(昭和55年)(築10年以上)
建物用途	: 住宅
構法	: 在来軸組構法
建物仕様	: 重い建物
階高	: 1階:2800mm 2階:2800mm
外壁材種	: 木ずり下地モルタル塗壁(2.20kN/m)
地震地域係数 Z	: 1.00
軟弱地盤割増	: 軟弱地盤ではない(1.0)
形状割増係数	: 1階:短辺6m以上(1.00) 2階:短辺6m以上(1.00)
積雪深さ	: 0.0 (m)
積雪割増	: 0.00
基礎形式	: II 軽微なひび割れのある無筋コンクリート基礎
柱頭柱脚接合部	: III、IV 3kN未満
木製筋かい接合部	: 釘打ち(2-N75程度)以下
床仕様	: II 火打ち+荒板

壁配置図と1/4分割

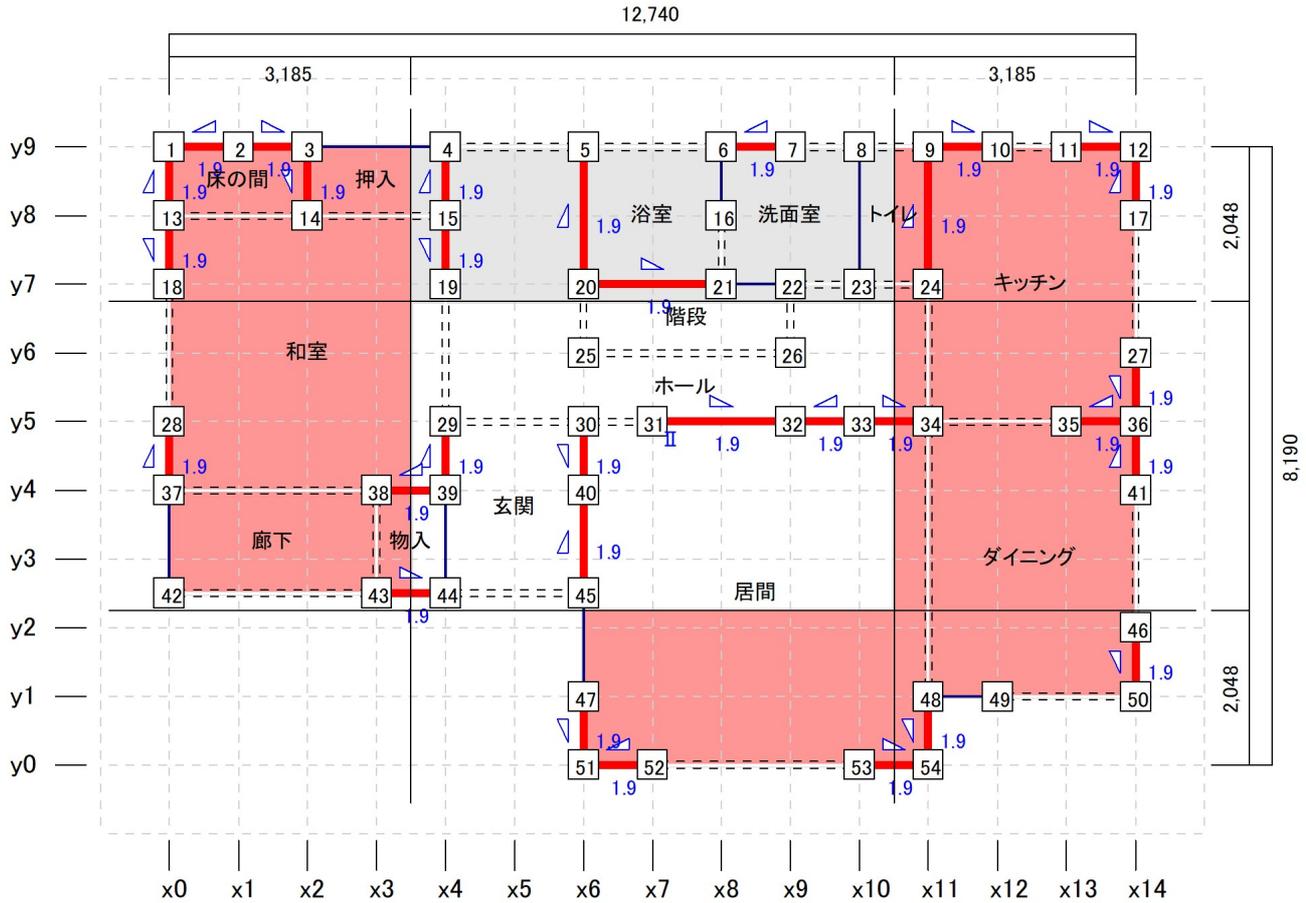
【1階評点】

X方向 0.32 Y方向 0.52

【1階の床面積】

89.44m²

【1階壁配置図】



縮尺:1/100

凡例

- 一般壁 - - - - 開口部 — 耐力壁 ▨ ハルコー ▩ 小屋裏収納等 ▨ オーバーハング □ 柱 ○ 通し柱
- 重心 ⊙ 剛心 ■ 偏心率0.15範囲(剛心が内側であれば低減無し)
- ▽ 筋かいシングル ▲ 筋かいダブル — 面材耐力壁 - - - 部分入力雑壁 I II 柱接合部 I, II (III, IVは表記省略)

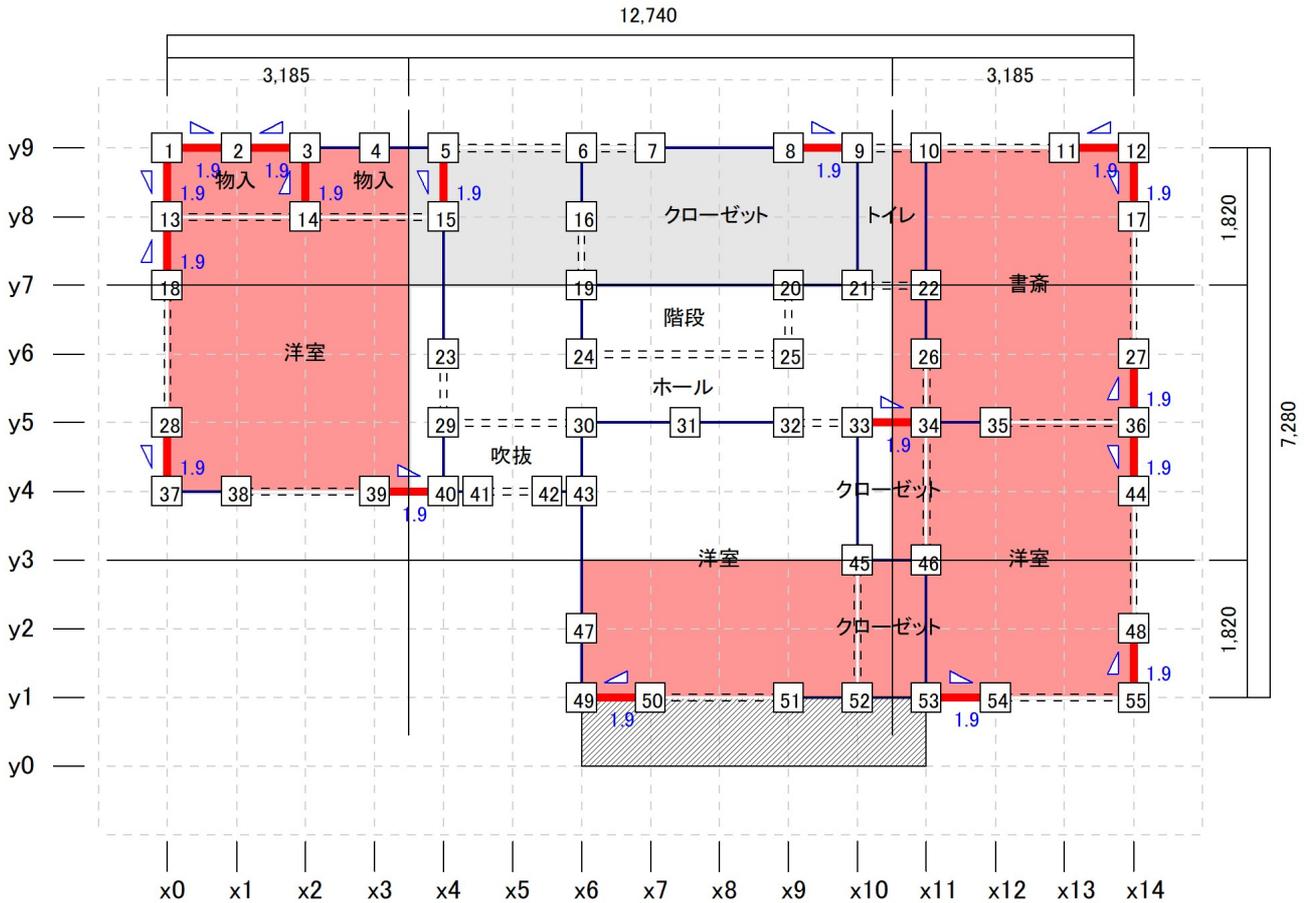
【2階評点】

X方向 0.47 Y方向 0.47

【2階の床面積】

77.85m²

【2階壁配置図】



縮尺:1/100

凡例

- 一般壁 - - - 開口部 — 耐力壁 ▨ ハルコー ▩ 小屋裏収納等 ▨ オーバーハング □ 柱 ○ 通し柱
- 重心 ⊙ 剛心 ▨ 偏心率0.15範囲(剛心が内側であれば低減無し)
- ▽ 筋かいシングル ▲ 筋かいダブル — 面材耐力壁 - - - 部分入力雑壁 I II 柱接合部 I, II (Ⅲ,Ⅳは表記省略)

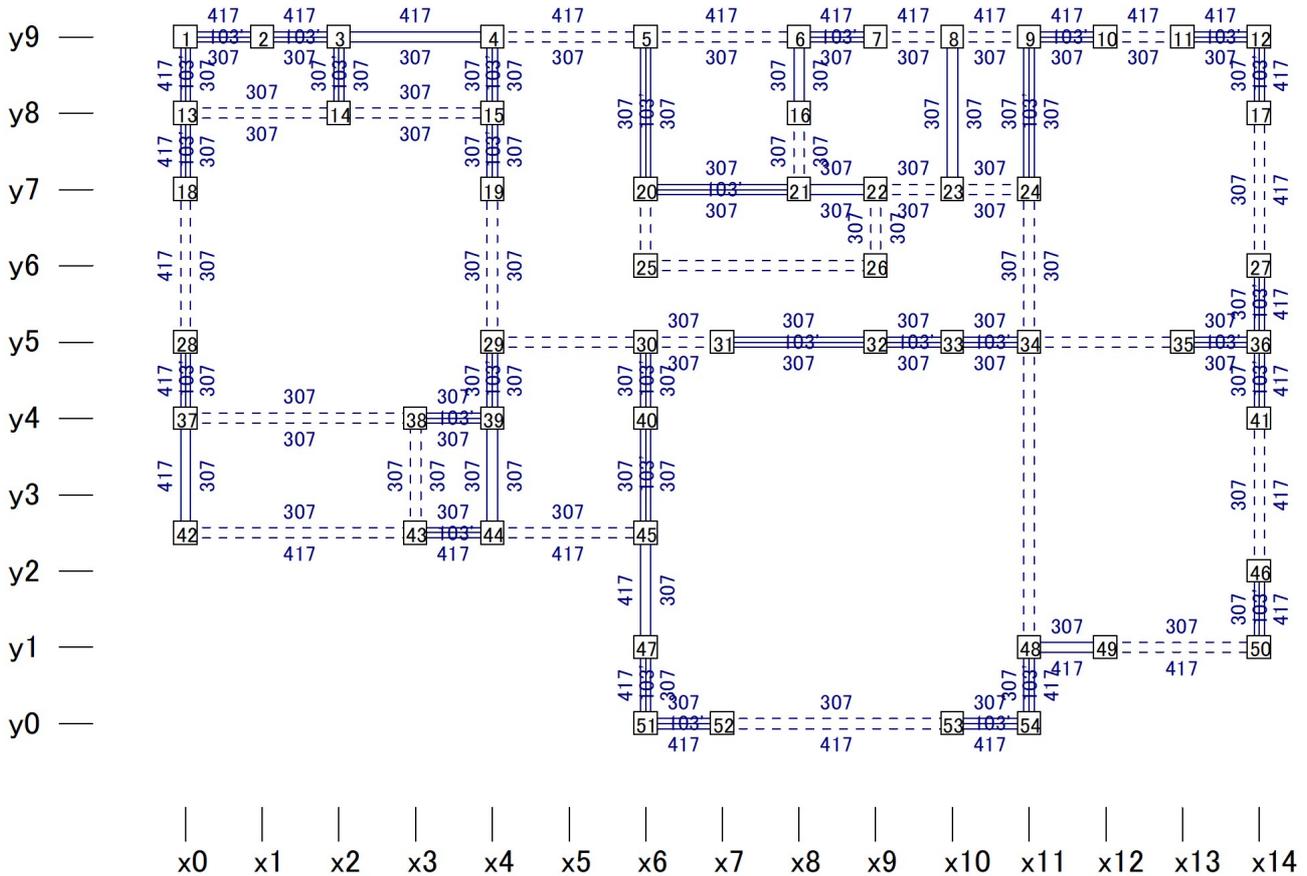
使用壁材一覧と壁材種表示平面図

【使用壁材一覧】

コード	材種	基準耐力 (kN/m)
103'	筋かい(30×90)(釘打ち)	1.90
307	石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50
417	木ずり下地モルタル塗壁	2.20

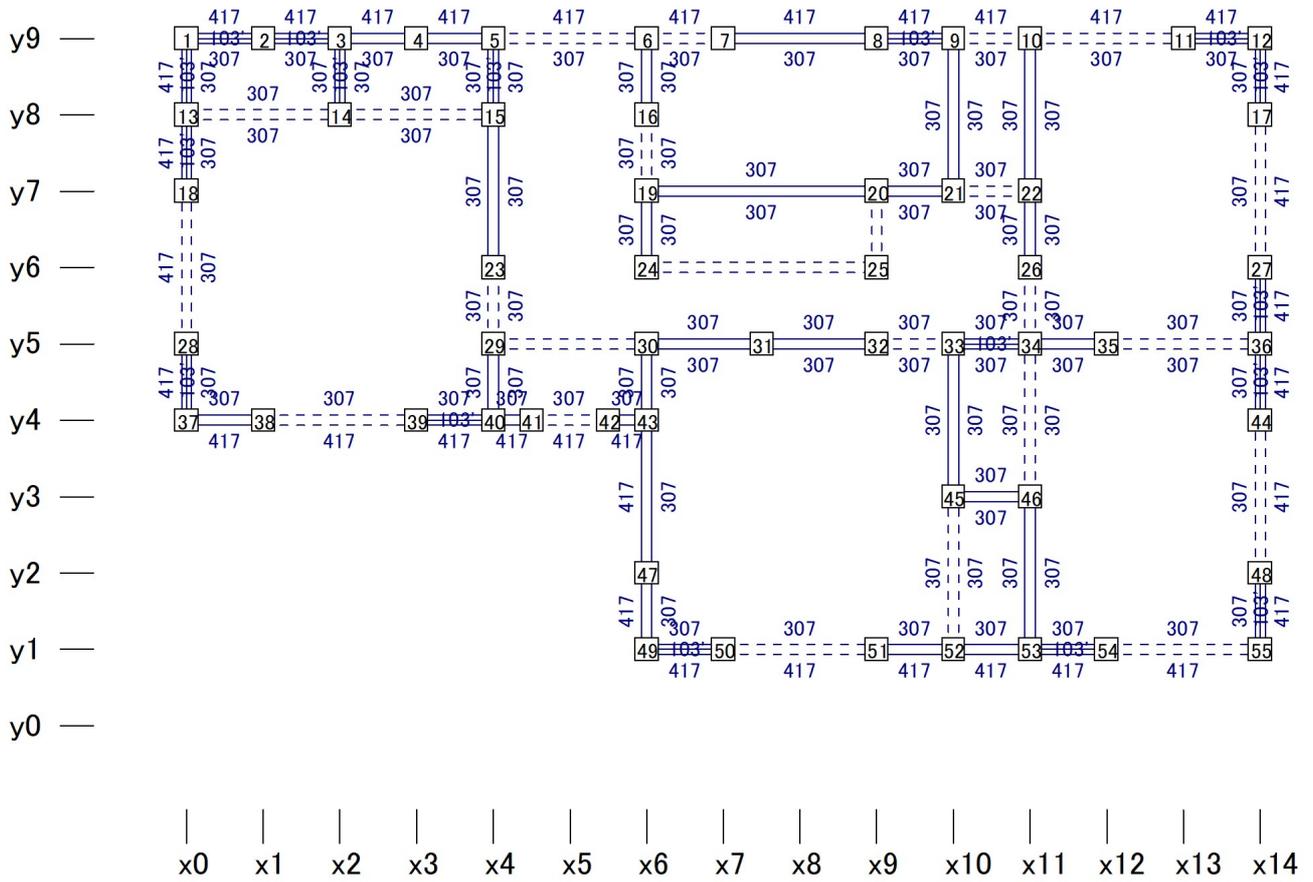
※ 壁材種設定により入力者が任意に追加した材種は網掛けで塗られて表示。
 ※ 筋かい耐力壁はシングルを表示。ダブルの場合はシングルを2倍にした値を適用。

【1階壁材種表示平面図】



縮尺: 1/90

【2階壁材種表示平面図】



縮尺: 1/90

必要耐力の算出

	床面積 (㎡)	床面積 当たりの 必要耐力 (kN/㎡)	積雪用 必要 耐力 (kN/㎡)	地震 地域 係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増 係数	必要耐力 Qr (kN)
2階	77.85	0.53	0.00	1.00	1.00	1.00	41.27
1階	89.44	1.06					94.81

領域毎の必要耐力の算出 (耐力要素の配置等による低減係数算出用)

		床面積 (㎡)	床面積 当たりの 必要耐力 (kN/㎡)	積雪用 必要 耐力 (kN/㎡)	地震 地域 係数 Z	軟弱 地盤 割増 係数	形状 割増 係数	必要耐力 Qr (kN)
X 方向	桁行 a	2階	23.19	0.53	1.00	1.00	1.00	12.30
		1階	26.10	1.06				27.67
	桁行 b	2階	13.25	0.53				7.03
		1階	12.43	1.06				13.18
Y 方向	梁間 a	2階	14.50	0.53	1.00	1.00	1.00	7.69
		1階	18.84	1.06				19.98
	梁間 b	2階	23.19	0.53				12.30
		1階	23.61	1.06				25.03

壁の耐力の算定

1階X方向

	柱1	柱2	壁仕様	壁基準 耐力 Fw (kN/m)	Σ Fw (kN/m)	接合部 耐力 低減 Kj	壁長 L (m)	Qwi (kN)	Qw= Σ Qwi (kN)	Qei (kN)	Qe= Σ Qei (kN)	Qu= Qw+Qe (kN)		
桁行 a	1	2	木ずり下地珪藻土塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	-		
	2	3	木ずり下地珪藻土塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	-		
	3	4	木ずり下地珪藻土塗壁 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.50	3.70	×	0.76	×	1.82	=	5.11	-		
	6	7	木ずり下地珪藻土塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	-		
	9	10	木ずり下地珪藻土塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	-		
	11	12	木ずり下地珪藻土塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	-		
	20	21	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	1.82	=	6.24	-		
	21	22	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.80	×	0.91	=	2.18	30.58	-	
	4	5	窓型開口	0.60	-	×	-	×	▲1.50	=	-	0.90		
	5	6	窓型開口	0.60	-	×	-	×	▲1.50	=	-	0.90		
	7	8	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-	0.27		
	8	9	窓型開口	◆0.30	-	×	-	×	0.91	=	-	0.27		
	10	11	窓型開口	0.60	-	×	-	×	0.91	=	-	0.54		
	13	14	掃き出し開口	◇0.00	-	×	-	×	▲1.50	=	-	0.00		
14	15	掃き出し開口	◇0.00	-	×	-	×	▲1.50	=	-	0.00			
22	23	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-	0.27			
23	24	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-	0.27	3.42	34.00	
桁行 中央	31	32	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	1.82	=	6.24	-		
	32	33	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12	-		
	33	34	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12	-		
	35	36	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12	-		
	38	39	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12	-		

【壁仕様の表記について】

- 網掛け: 壁材種設定により入力者が任意に追加した材種を含む壁
- / X: シングル、ダブルの筋かい
- △: 長さ90cm未満の筋かいおよび60cm未満の面、土塗壁(耐力は0となる)
- ▼: 筋かい接合部による低減ありの木製筋かい

【Fw、ΣFwの表記について】

- #: 壁基準耐力に補正が掛かっている部材
- ▽: 端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- : 開口壁との間に柱が無い無開口壁(開口壁として扱われる)
- : 開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁(開口壁として扱われる)
- ◆: 掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇: 耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- ×: 壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【Kjの表記について】

- *: 直上に他階が乗っていないため平屋の低減係数を使用

【Lの表記について】

- ▲: 開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

- Qwi: 無開口壁の耐力
- Qw: 無開口壁の耐力の合計
- Qei: 開口壁の耐力
- Qe: 開口壁の耐力の合計
- Qu: 壁の耐力

1階X方向

	柱1	柱2	壁仕様	壁基準 耐力 Fw (kN/m)	Σ Fw (kN/m)	接合部 耐力 低減 Kj	壁長 L (m)	Qwi (kN)	Qw= Σ Qwi (kN)	Qei (kN)	Qe= Σ Qei (kN)	Qu= Qw+Qe (kN)			
	43	44	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	*0.44	×	0.91	=	2.24	20.96	-	-	
	30	31	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-		0.27		
	37	38	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	2.73	=	-		0.81		
	42	43	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	2.73	=	-		0.81		
	44	45	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	1.82	=	-		0.54	2.43	23.39
桁行 b	48	49	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 2.20	3.70	×	0.76	×	0.91	=	2.55		-		
	51	52	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	*0.44	×	0.91	=	2.24		-		
	53	54	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	*0.44	×	0.91	=	2.24	7.03	-	-	
	49	50	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	1.82	=	-		0.54		
	52	53	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	2.73	=	-		0.81	1.35	8.38
											計	65.77			

【壁仕様の表記について】

- 網掛け：壁材種設定により入力者が任意に追加した材種を含む壁
- / X：シングル、ダブルの筋かい
- △：長さ90cm未満の筋かいおよび60cm未満の面、土塗壁（耐力は0となる）
- ▼：筋かい接合部による低減ありの木製筋かい

【Fw、ΣFwの表記について】

- #：壁基準耐力に補正が掛かっている部材
- ▽：端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- ：開口壁との間に柱が無い無開口壁（開口壁として扱われる）
- ：開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁（開口壁として扱われる）
- ◆：掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇：耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- ×
- ×：壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【Kjの表記について】

- *：直上に他階が乗っていないため平屋の低減係数を使用

【Lの表記について】

- ▲：開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

- Qwi：無開口壁の耐力
- Qw：無開口壁の耐力の合計
- Qei：開口壁の耐力
- Qe：開口壁の耐力の合計
- Qu：壁の耐力

1階Y方向

	柱1	柱2	壁仕様	壁基準 耐力 Fw (kN/m)	Σ Fw (kN/m)	接合部 耐力 低減 Kj	壁長 L (m)	Qwi (kN)	Qw= Σ Qwi (kN)	Qei (kN)	Qe= Σ Qei (kN)	Qu= Qw+Qe (kN)		
梁間 a	1	13	木ずり下地珪珪塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	16.16	-	
	13	18	木ずり下地珪珪塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41		-	
	28	37	木ずり下地珪珪塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41		-	
	37	42	木ずり下地珪珪塗壁 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.50	3.70	×	*0.56	×	1.36	=	2.81		-	
	3	14	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12		-	
	18	28	窓型開口	0.60	-	×	-	×	1.82	=	-		1.09	-
	38	43	掃き出し開口	◇0.00	-	×	-	×	1.36	=	-		0.00	1.09
梁間 中央	4	15	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12	38.42	-	
	15	19	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12		-	
	29	39	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12		-	
	39	44	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	*0.60	×	1.36	=	2.44		-	
	5	20	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	1.82	=	6.24		-	
	30	40	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	0.91	=	3.12		-	
	40	45	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	1.36	=	4.66		-	
	45	47	木ずり下地珪珪塗壁 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.50	3.70	×	0.76	×	1.36	=	3.82		-	
	47	51	木ずり下地珪珪塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	*0.44	×	0.91	=	2.24		-	
	6	16	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.80	×	0.91	=	2.18		-	
	8	23	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.80	×	1.82	=	4.36		-	
	16	21	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-		0.27	-
	19	29	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	1.82	=	-		0.54	-
	22	26	掃き出し開口	◇0.00	-	×	-	×	0.91	=	-		0.00	0.81

【壁仕様の表記について】

- 網掛け：壁材種設定により入力者が任意に追加した材種を含む壁
- / X：シングル、ダブルの筋かい
- △：長さ90cm未満の筋かいおよび60cm未満の面、土塗壁（耐力は0となる）
- ▼：筋かい接合部による低減ありの木製筋かい

【Fw、ΣFwの表記について】

- #：壁基準耐力に補正が掛かっている部材
- ▽：端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- ：開口壁との間に柱が無い無開口壁（開口壁として扱われる）
- ：開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁（開口壁として扱われる）
- ◆：掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇：耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- ×：壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【Kjの表記について】

- *：直上に他階が乗っていないため平屋の低減係数を使用

【Lの表記について】

- ▲：開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

- Qwi：無開口壁の耐力
- Qw：無開口壁の耐力の合計
- Qei：開口壁の耐力
- Qe：開口壁の耐力の合計
- Qu：壁の耐力

1階Y方向

	柱1	柱2	壁仕様	壁基準 耐力 Fw (kN/m)	Σ Fw (kN/m)	接合部 耐力 低減 Kj	壁長 L (m)	Qwi (kN)	Qw= Σ Qwi (kN)	Qei (kN)	Qe= Σ Qei (kN)	Qu= Qw+Qe (kN)	
梁間 b	9	24	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.70	×	1.82	=	6.24	-	
	48	54	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	*0.44	×	0.91	=	2.24	-	
	12	17	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	-	
	27	36	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	-	
	36	41	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	-	
	46	50	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.67	×	0.91	=	3.41	22.12	-
	17	27	窓型開口	0.60	-	×	-	×	1.82	=	-	1.09	
	24	34	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	1.82	=	-	0.54	
	41	46	窓型開口	0.60	-	×	-	×	1.82	=	-	1.09	2.72
											計	81.32	

【壁仕様の表記について】

- 網掛け: 壁材種設定により入力者が任意に追加した材種を含む壁
- / X: シングル、ダブルの筋かい
- △: 長さ90cm未満の筋かいおよび60cm未満の面、土塗壁(耐力は0となる)
- ▼: 筋かい接合部による低減ありの木製筋かい

【Fw、ΣFwの表記について】

- #: 壁基準耐力に補正が掛かっている部材
- ▽: 端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- : 開口壁との間に柱が無い無開口壁(開口壁として扱われる)
- : 開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁(開口壁として扱われる)
- ◆: 掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇: 耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- ×: 壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【Kjの表記について】

- *: 直上に他階が乗っていないため平屋の低減係数を使用

【Lの表記について】

- ▲: 開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

- Qwi: 無開口壁の耐力
- Qw: 無開口壁の耐力の合計
- Qei: 開口壁の耐力
- Qe: 開口壁の耐力の合計
- Qu: 壁の耐力

2階X方向

	柱1	柱2	壁仕様	壁基準 耐力 Fw (kN/m)	Σ Fw (kN/m)	接合部 耐力 低減 Kj	壁長 L (m)	Qwi (kN)	Qw= Σ Qwi (kN)	Qei (kN)	Qe= Σ Qei (kN)	Qu= Qw+Qe (kN)		
桁行 a	1	2	木ずり下地珪外塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-	
	2	3	木ずり下地珪外塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-	
	3	4	木ずり下地珪外塗壁 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.50	3.70	×	0.31	×	0.91	=	1.04	-	-	
	4	5	木ずり下地珪外塗壁 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.50	3.70	×	0.31	×	0.91	=	1.04	-	-	
	7	8	木ずり下地珪外塗壁 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.50	3.70	×	0.31	×	1.82	=	2.08	-	-	
	8	9	木ずり下地珪外塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-	
	11	12	木ずり下地珪外塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-	
	19	20	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	2.73	=	2.86	-	-	
	20	21	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	0.91	=	0.95	12.65	-	-
	5	6	窓型開口	0.60	-	×	-	×	1.82	=	-	1.09	-	-
	6	7	窓型開口	0.60	-	×	-	×	0.91	=	-	0.54	-	-
	9	10	窓型開口	0.60	-	×	-	×	0.91	=	-	0.54	-	-
	10	11	窓型開口	0.60	-	×	-	×	1.82	=	-	1.09	-	-
	13	14	掃き出し開口	◇0.00	-	×	-	×	▲1.50	=	-	0.00	-	-
14	15	掃き出し開口	◇0.00	-	×	-	×	▲1.50	=	-	0.00	-	-	
21	22	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-	0.27	3.53	16.18	
桁行 中央	30	31	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	1.36	=	1.42	-	-	
	31	32	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	1.36	=	1.42	-	-	
	33	34	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.25	×	0.91	=	1.11	-	-	
	34	35	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	0.91	=	0.95	-	-	
	37	38	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 木ずり下地珪外塗壁	1.50 2.20	3.70	×	0.31	×	0.91	=	1.04	-	-	
	39	40	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪外塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-	
	40	41	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 木ずり下地珪外塗壁	1.50 2.20	3.70	×	0.31	×	0.45	=	0.51	-	-	
	42	43	△石膏ボード(非大-GNF40@200川) △木ずり下地珪外塗壁	0.00 0.00	0.00	×	1.00	×	0.45	=	0.00	7.62	-	-

【壁仕様の表記について】

- 網掛け：壁材種設定により入力者が任意に追加した材種を含む壁
- / X：シングル、ダブルの筋かい
- △：長さ90cm未満の筋かいおよび60cm未満の面、土塗壁（耐力は0となる）
- ▼：筋かい接合部による低減ありの木製筋かい

【Fw、ΣFwの表記について】

- #：壁基準耐力に補正が掛かっている部材
- ▽：端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- ：開口壁との間に柱が無い無開口壁（開口壁として扱われる）
- ：開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁（開口壁として扱われる）
- ◆：掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇：耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- ×：壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【Kjの表記について】

- *：直上に他階が乗っていないため平屋の低減係数を使用

【Lの表記について】

- ▲：開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

- Qwi：無開口壁の耐力
- Qw：無開口壁の耐力の合計
- Qei：開口壁の耐力
- Qe：開口壁の耐力の合計
- Qu：壁の耐力

2階X方向

柱1	柱2	壁仕様	壁基準 耐力 Fw (kN/m)	Σ Fw (kN/m)	接合部 耐力 低減 Kj	壁長 L (m)	Qwi (kN)	Qw= Σ Qwi (kN)	Qei (kN)	Qe= Σ Qei (kN)	Qu= Qw+Qe (kN)
32	33	掃き出し開口	0.30	-	×	0.91	=	-	0.27		
35	36	掃き出し開口	0.30	-	×	1.82	=	-	0.54		
38	39	窓型開口	0.60	-	×	1.82	=	-	1.09		
41	42	窓型開口	0.60	-	×	0.91	=	-	0.54	2.44	10.06
桁行 b	45	石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50	3.00	×	0.91	=	0.95	-		
	46	石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50								
	49	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.91	=	1.17	-		
	51	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 2.20	3.70	×	0.91	=	1.04	-		
	52	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 2.20	3.70	×	0.91	=	1.04	-		
	53	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.91	=	1.17	5.37	-	-
	50	掃き出し開口	0.30	-	×	1.82	=	-	0.54		
	54	窓型開口	0.60	-	×	1.82	=	-	1.09	1.63	7.00
計										33.24	

【壁仕様の表記について】

- 網掛け：壁材種設定により入力者が任意に追加した材種を含む壁
- / X：シングル、ダブルの筋かい
- △：長さ90cm未満の筋かいおよび60cm未満の面、土塗壁（耐力は0となる）
- ▼：筋かい接合部による低減ありの木製筋かい

【Fw、ΣFwの表記について】

- #：壁基準耐力に補正が掛かっている部材
- ▽：端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- ：開口壁との間に柱が無い無開口壁（開口壁として扱われる）
- ：開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁（開口壁として扱われる）
- ◆：掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇：耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- ×

【Kjの表記について】

- *：直上に他階が乗っていないため平屋の低減係数を使用

【Lの表記について】

- ▲：開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

- Qwi：無開口壁の耐力
- Qw：無開口壁の耐力の合計
- Qei：開口壁の耐力
- Qe：開口壁の耐力の合計
- Qu：壁の耐力

2階Y方向

	柱1	柱2	壁仕様	壁基準 耐力 Fw (kN/m)	Σ Fw (kN/m)	接合部 耐力 低減 Kj	壁長 L (m)	Qwi (kN)	Qw= Σ Qwi (kN)	Qei (kN)	Qe= Σ Qei (kN)	Qu= Qw+Qe (kN)	
梁間 a	1	13	木ずり下地珪珉塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-
	13	18	木ずり下地珪珉塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-
	28	37	木ずり下地珪珉塗壁 / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.90 1.50	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-
	3	14	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.25	×	0.91	=	1.11	4.62	-
	18	28	窓型開口	0.60	-	×	-	×	1.82	=	-	-	1.09
梁間 中央	5	15	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.90 1.50	4.90	×	0.25	×	0.91	=	1.11	-	-
	15	23	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	1.82	=	1.91	-	-
	29	40	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	0.91	=	0.95	-	-
	6	16	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	0.91	=	0.95	-	-
	19	24	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	0.91	=	0.95	-	-
	30	43	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	0.91	=	0.95	-	-
	43	47	木ずり下地珪珉塗壁 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.50	3.70	×	0.31	×	1.82	=	2.08	-	-
	47	49	木ずり下地珪珉塗壁 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	2.20 1.50	3.70	×	0.31	×	0.91	=	1.04	-	-
	9	21	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	1.82	=	1.91	-	-
	33	45	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	1.82	=	1.91	13.76	-
	16	19	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-	-	0.27
	23	29	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-	-	0.27
	45	52	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	1.82	=	-	-	0.54
梁間 b	10	22	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	1.82	=	1.91	-	-
	22	26	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	0.91	=	0.95	-	-
	46	53	石膏ボード(非大-GNF40@200川) 石膏ボード(非大-GNF40@200川)	1.50 1.50	3.00	×	0.35	×	1.82	=	1.91	-	-
	12	17	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪珉塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-

【壁仕様の表記について】

- 網掛け: 壁材種設定により入力者が任意に追加した材種を含む壁
- / X: シングル、ダブルの筋かい
- △: 長さ90cm未満の筋かいおよび60cm未満の面、土塗壁(耐力は0となる)
- ▼: 筋かい接合部による低減ありの木製筋かい

【Fw、ΣFwの表記について】

- #: 壁基準耐力に補正が掛かっている部材
- ▽: 端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁
- : 開口壁との間に柱が無い無開口壁(開口壁として扱われる)
- : 開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁(開口壁として扱われる)
- ◆: 掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口
- ◇: 耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁
- ×: 壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【Kjの表記について】

- *: 直上に他階が乗っていないため平屋の低減係数を使用

【Lの表記について】

- ▲: 開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

- Qwi: 無開口壁の耐力
- Qw: 無開口壁の耐力の合計
- Qei: 開口壁の耐力
- Qe: 開口壁の耐力の合計
- Qu: 壁の耐力

2階Y方向

柱1	柱2	壁仕様	壁基準 耐力 Fw (kN/m)	Σ Fw (kN/m)	接合部 耐力 低減 Kj	壁長 L (m)	Qwi (kN)	Qw= Σ Qwi (kN)	Qei (kN)	Qe= Σ Qei (kN)	Qu= Qw+Qe (kN)	
27	36	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-
36	44	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	-	-
48	55	石膏ボード(非大-GNF40@200川) / 筋かい(30×90)(釘打ち) 木ずり下地珪藻土塗壁	1.50 1.90 2.20	5.60	×	0.23	×	0.91	=	1.17	9.45	-
17	27	窓型開口	0.60	-	×	-	×	1.82	=	-	1.09	-
26	34	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	0.91	=	-	0.27	-
34	46	掃き出し開口	0.30	-	×	-	×	1.82	=	-	0.54	-
44	48	窓型開口	0.60	-	×	-	×	1.82	=	-	1.09	-
										計	2.99	12.44

【壁仕様の表記について】

網掛け: 壁材種設定により入力者が任意に追加した材種を含む壁

/ X: シングル、ダブルの筋かい

△: 長さ90cm未満の筋かいおよび60cm未満の面、土塗壁(耐力は0となる)

▼: 筋かい接合部による低減ありの木製筋かい

【Fw、ΣFwの表記について】

#: 壁基準耐力に補正が掛かっている部材

▽: 端部に柱が無いため耐力0と扱われる壁

■: 開口壁との間に柱が無い無開口壁(開口壁として扱われる)

□: 開口部に挟まれた耐力を評価できない無開口壁(開口壁として扱われる)

◆: 掃き出し開口と連続のため掃き出しの耐力が使用される窓型開口

◇: 耐力を持つ無開口壁に接していないために耐力を算定できない開口壁

×: 壁材種の基準耐力0のため耐力を算定できない開口壁

【Kjの表記について】

*: 直上に他階が乗っていないため平屋の低減係数を使用

【Lの表記について】

▲: 開口の連続長3.0m超のため3.0mとなるように低減

Qwi: 無開口壁の耐力

Qw: 無開口壁の耐力の合計

Qei: 開口壁の耐力

Qe: 開口壁の耐力の合計

Qu: 壁の耐力

耐力要素の配置による低減係数 eKfl

床仕様		Ⅱ 火打ち+荒板		必要耐力 Qr (kN)	領域における 保有する耐力 Qw(kN)	充足率 Qw/Qr	配置による 低減係数 eKfl
2F	X方向	桁行a		12.30	12.65	1.02	0.849
		桁行b		7.03	5.37	0.76	
	Y方向	梁間a		7.69	4.62	0.60	0.857
		梁間b		12.30	9.45	0.76	
1F	X方向	桁行a		27.67	30.58	1.10	0.666
		桁行b		13.18	7.03	0.53	
	Y方向	梁間a		19.98	16.16	0.80	0.881
		梁間b		25.03	22.12	0.88	

劣化度による低減係数 dKk

以下の5項目のチェック結果により劣化度による低減係数dKkの値を定める。

イ. 外壁は健全ですか？				
1点	ひび割れや剥離、水浸み痕、こけ、腐朽などが全くない。 あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。		0点	
0点	ひび割れや剥離、水浸み痕、こけ、腐朽などがある。			
ロ. 屋根は健全ですか？				
1点	瓦やスレートが健全で、棟や軒がまっすぐで波打ったりしていない。 あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。		1点	
0点	瓦やスレートが割れたり、棟や軒が下がったり波打ったりしている。			
ハ. 基礎は健全ですか？				
1点	ひび割れが無く健全である。 あるいは、定期的にメンテナンスを行っている。		0点	
0点	ひび割れが散見される。			
ニ. 居室や廊下の床は健全ですか？				
1点	傾斜が無く、大きなたわみや振動が無い。 あるいは、リフォームを行っている。		0点	
0点	傾斜がある。または過度のたわみや振動がある。			
ホ. 浴室周りはどのような作りですか？				
1点	ユニットバス。あるいは、リフォームを行っている。		1点	
0点	タイル貼りなどの在来浴室。			
合計点数		2点	劣化度による低減係数 dKk	0.7

※合計点数 5点:低減係数1.0 4点:低減係数0.85 3点以下:低減係数0.7

上部構造評点

階	方向	壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置 eKfl	保有する耐力 edQu (kN)	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点	劣化度 dKk	評点
2F	X	33.24	0.849	28.22	41.27	0.68	0.70	0.47
	Y	32.99	0.857	28.27		0.68		0.47
1F	X	65.77	0.666	43.80	94.81	0.46		0.32
	Y	81.32	0.881	71.64		0.75		0.52

総合評価(診断結果)

【地盤】

地盤	対策	記入	注意事項
良い・普通		○	特になし
悪い			
非常に悪い (埋立地、盛り土、 軟弱地盤)	表層の地盤改良を行なっている		
	杭基礎である 特別な対策を行っていない その他		

【地形】

地形	対策	記入	注意事項
平坦・普通		○	特になし
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積 特別な対策を行っていない		

【基礎】

基礎形式	対策	記入	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全		アンカーボルト、引き抜き金物が十分な性能を発揮できない場合があります。こうした箇所には補強が必要です。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	軽微なひび割れが生じている	○	
玉石基礎	ひび割れが生じている		
	足固め+鉄筋コンクリート底盤緊結		
その他 (ブロック基礎等)	足固めのみまたは足固め無し		

【上部構造】

上部構造評点 のうち最小の値	評点	判定
0.32	1.5以上	◎倒壊しない
	1.0以上～1.5未満	○一応倒壊しない
	0.7以上～1.0未満	△倒壊する可能性がある
	0.7未満	×倒壊する可能性が高い

【その他注意事項】

特になし

注意事項

- ・ 本計算書は、2017年5月16日に一般財団法人日本建築防災協会より公表された「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法（新耐震木造住宅検証法）」に準拠したものです。
- ・ 「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法」では、診断の対象とする地震動を、「建物がその耐用年数の間にごくまれに遭遇するかもしれない大地震動」としています。
- ・ 本ソフトウェアの診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

■「木造住宅耐震診断プログラム評価」の範囲

ホームズ君「耐震診断Pro」の「新耐震木造住宅検証法オプション」（以下本システム）は、一般財団法人日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価」の対象範囲外の機能です。以下に、ホームズ君「耐震診断Pro」が取得しているプログラム評価の対象範囲を示します。

▼プログラム評価対象の機能

- ・ 一般診断法
- ・ 精密診断法 1

▼プログラム評価対象外の機能

- ・ 新耐震木造住宅検証法
- ・ 精密診断法 2（限界耐力計算）
- ・ 精密診断法 2（保有水平耐力計算）
- ・ 壁量計算
- ・ 壁の配置（偏心率、4分割法）
- ・ 柱頭柱脚金物算定（N値計算）
- ・ 梁・桁断面計算
- ・ 省エネルギー計算
- ・ プレゼンボード機能